

広報
254号

東京都製紙原料協同組合

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東3-16-1
TEL (3831) 7980~1
発行人 近藤 勝
編集広報委員会



鳥も通わぬ八丈島、今はジェット機で毎日4往復。

城南支部 (株)梶谷商事 梶野 泰一

〈 主 な 内 容 〉

時の視点

新直納部長の挨拶	赤染清康	2
新事業部長の挨拶	坂田 智	3
静岡紙業協会家庭紙部会との懇談会		4~7

支部便り

(中央支部) 新支部長挨拶	菊池武美	8
(山手支部) 総会報告	庶務 徳永裕司	8
(山手支部) 新支部長挨拶	脇 克美	8~9

組合員の広場

おまけの人生	足立新支部長 赤松源裕	9~10
今日、この頃「その四」空白の日々		10~12
	前事務局長 三沢康夫	
お知らせ		12~13
	「8・9月会議・歳事予定」「古紙価格」「計報」	
会議概要		13~20
編集後記	広報副部長 脇 克美	21
広告		22

時の視点

新直納部長の挨拶

赤染 清康

この度、近藤新理事長より直納部長を拝命致しました赤染でございます。

前期迄は、近藤直納部長の下で副部長と云う比較的気軽な立場でしたが、今期からは直納部と云う商売に直結する部門を運営していかなければならず、身の引き締まる思いが致します。

また、今期から副部長の方々は、一人は業界でキャリアと経験豊富な(株)富澤の小林さん。今一人は、新進気鋭の三弘紙業(株)の上田晴建社長にお願いしました。お二人とも私の弱点を補って余りある方々ですので安心しております。そして、直納部には、新委員長、副委員長、新部員の方々も多数居ますので、人材的にも非常に力強く思います。

さて、業界の環境は、ひと昔前の古紙余剰時に較べると目まぐるしく変化しました。私

が父より会社を継ぎましたのがバブル崩壊後でしたので、長い不況を経験して最近はいくぶん晴れやかな気持がいたします。ただ、業界としては、「古紙の国際化」が叫ばれる中、依然として過当競争が続いております。

このような中、直納部としましては、先の静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会、毎月の直納部会、共販委員会を通して、できるだけ組合及び組合員の利益になるよう発言して来ましたが、今後とも情報の整理、国内外の市場調査、古紙業界としての主張を通じて組合へ貢献して行きたいと思っております。

今後の直納部の予定ですが、八月六日に直納共販委員会及び納涼会、十月十八日より二十一日迄マニラ及びスービックの家庭紙メーカー視察を計画しております。

最後になりましたが、今迄組合及び直納部を盛り上げて頂いた諸先輩の方々及び関係各位に感謝いたしまして、ご挨拶とさせていただきますとともに今後とも、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

新事業部長の挨拶

坂田 智

この度、近藤理事長より事業部部長を拝命致しました坂田智です。

皆様も知っておられる前榎原事業部長は、大変な能力の持ち主で、人柄、人望も厚く、すばらしい方で私は長年お付き合いさせていただいておりますが、尊敬できる又、大変頼りになる先輩でした。その大先輩の後をまかされるのですから少し不安もあり身の引き締まる思いです。

さて事業部は、高速道路のETC事業とガソリンカード(都市近代化事業協同組合)そして保険事業(大同生命)の三つの事業より手数料収入を得ております。又、今年は新たに助成金制度に取り組みISOコンサルティングオフィスの協力を得て組合に少しでもプラスされる努力をいたします。

今年は、中国輸出等のおかげで少し価格が戻ってきておりますが、私が入社した30年前には到底追いつかない当時の価格の30%位で

はないでしょうか。しかし、この先のことは誰も解りません。このまま順調に推移するのか、又、余って値下がりするのかわかりませんが、組合員1人1人が努力を怠らない事だと思いません。私事になりますが、現在、息子（小学校5年生）の入っている少年野球のコーチをして週末を過ごしています。野球の本格的な経験のない私ですがコーチになり、年目になります。子供達の成長は目を見張るものがあります。1年生の時は悪タレをついていた悪ガキも、今では、すっかりとした挨拶もでき、言葉使いも良くなりチームプレーをするようになりました。私も子供達のように初心を忘れずに前向きに生活をしていきたいと思えます。

最後に若輩の私ですが皆様方の協力を得て近藤理事長を他の業務部と理事の方々と一緒に盛り立てて行く所存ですので宜しくお願ひ申し上げます。

静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会

（平成19年6月25日（月）午後2時） 於
富士工業技術支援センター大研修室
出席者・・・静岡県紙業協会家庭紙部会27名
（内、家庭紙メーカー20名）

静岡県製紙原料商業組合11名
東京都製紙原料協同組合12名

三団体代表挨拶

イデシギヨー（株）井出代表取締役会長

（静岡県紙業協会家庭紙部会）

パルプが非常に高く、キロあたり60円が100円台である。現在は、為替の影響もあるが資材インフレで製品デフレである。そういう物を使って製品が価格修正されているかと言うと、なかなか難しい状況である。古紙は価格修正されたが製品の方は、まだである。製品の価格修正を行い、お客様に良い製品の認識を持ってもらうことが大事であると思っている。そして原料を安心して家庭紙に納品してほしいと願っている。昨年トイレットペーパーの出荷が約100万トンあり古紙の使用量が8万トンであった。タオルの古紙の使用量が月に11、000トンであった。パルプが

高くなるとDIPの増設・稼働により良質の古紙を使ったほうがいいのではないかと考えるのが当たり前である。そんな中で、どれだけ良質の古紙を集められるかが問題であり、皆様方にこれからもお願いをしていきたいと同時に、ざつくばらんな話し合いをしていきたい。

近藤理事長（東京都製紙原料協同組合）

今、日本で回収されている古紙の20%が輸出であり、これは需要のバランスをとる上で正常な状態であり、国内メーカーがメインの販売店であることに変わりはありません。現在、古紙業界で取り組んでいる案件につきましてお話させていただきます。輸出価格との内外価格差の是正 支払の現金化。ほとんどが対応いただけていますが、あと一部につき引き続きご理解いただけるようお願いをしたい。古紙品質調査事業の実施（古紙の利用率を上げていくため品質を良くして行く）メーカーの直接回収自粛の要請について最近では生活用品が値上がりしているという報告を耳にします。家庭紙製品の価格修正も確実に実施されますことを期待しております

松岡副理事長 (静岡県製紙原料商業組合)

買いがインフレで売りがデフレだとのお話があったが、是非、売りのデフレを変化させてほしい。古紙の輸出価格はバブル状況であり、日本の古紙の品質を理解し、良質の古紙を国内メーカーに安心して使ってもらいたい。業者としては、良い品質のものをメーカーに供給していかなくてはいけないと思っている。静岡で回収された古紙は、ほとんどが静岡の中で使っていた。静岡県でも、その点、充分に力を入れ取り組んで努力していく考えである。

古紙全般の市況について 赤染直納部部长

(東京都製紙原料協同組合)

古紙は、輸出が4月5月と中国の労働節の影響もあり価格が下がった。6月に入り円安、労働節が終わり上昇した。特に、雑誌は過去最高の高値を更新した。関東商組3社の流通在庫は非常にタイトである。発生も対前年比で下がっている。家庭紙原料、オフィス系古紙を中心に内外格差が開いてきている。我々、仕入の過当競争に拍車がかかってきている。

家庭紙原料について

(株)富澤・小林色上委員長(東京協組)

平成18年1月からの古紙発生状況は低迷のまま推移している。平成18年1～5月の組合在庫数量と平成19年1～5月の在庫数量を比較した場合、平成19年は、1月約88・7% 2月約93% 3月約93% 4月約99・5% 5月約96・7% といずれも前年割れの在庫水準となっている。6月の古紙発生状況は5月よりは良くなるのではと期待したが、産業古紙、オフィス古紙の発生鈍化が見受けられる。このような状況から問屋の在庫もスムーズに回転している現状でありますので、6月末日の在庫数量の増量もあまり期待出来そうもありません。この様な現状が7月以降も続きますと大手製紙会社の動向及び輸出事況によりましてはタイト感が強くなると思われまます。又、雑誌の輸出価格が高騰しておりましてオフィスミックス及び込頁の一部が雑誌化されています。少量発生の上台紙も雑誌化している店も見受けられます。

オフィス古紙について(株)丸十・高橋オフィス古紙委員長(東京協組)

オフィス・ミックス古紙の輸出は、昨年1月

3月を比較するとほぼ、横這いである。昨年、主要港(東京・横浜)から出た上物が8万9千トンで今年も同じで、ほぼ横這いである。環境省で発表されている古紙回収量が今年度で全国で約2・250万トン。内、事業系が1・150万トン、家庭系が770万トン、産業系が330万トンと発表されている。

東京23区のゴミの発生量は、今年度は338万9千トン、前年度333万4千トンで約5万6千トン(1.7%)減少している。資源に廻されているのが3万1695トン、率にして2・1%増加している。今年も、同じで伸び率が横這いだと思われる。

松岡副理事長 (静岡県製紙原料商業組合)

古紙の直接回収自粛の要望について。古紙の直接回収を中止していただけますよう要望する次第です。

メーカー側より紙業協会で理事会を開き正式に回答する。

質疑応答…G(原料側)・M(メーカー側)
(M・Q)中国メーカーの動向と大手DIPの稼働による動きと内外価格差について
(G・A)中国大手の段原紙メーカーでは、

今年から来年にかけて大規模なマシンの増設中であり、今後増えていくことが予想される。中国の大手商社Nでは、これらの買い付けに入っており、今後も引き合いが強いと思われる。富陽地区の中小メーカーの生産は伸びているが消滅しているメーカーもある。数字的には引き合いがあるが、価格的には、ここが天井かもしれないが、何とも言えない。中国では需要があれば、どんな作っていく状況であり、国内もDIEPの増設を控えているので古紙の必要性を痛切に感じている。

7月の輸出価格は値上げが予想される。中国大手商社の需要が強く直納もありうるのではないが、古紙の国際化により中国が正当な評価をしたのかと思われる。

(製紙メーカー A) 関東の影響を受けている。中国との輸出の競争が激しい感じがする。古紙が逼迫しているので警戒をしている。

(G A) 価格についても原料側でもわからない状況である。すそ物で一番多いのが2円以内の差であるが、今後、雑誌が価格修正されるのではと考えられる。分別についても、どうなっていくのか。何故、仕入価格が高いのか。原料は80%を国内に供給しているが、その大部分を担っているのは昔からの直納であ

る。最近の参入(産廃業者・大手商社・輸出専門の間屋等)は、手取り早く輸出をして儲けてしまう。新規参入者が輸出するにあたって仕入単価は、どうしても高くなる。これは新たな市場に参入してきたので何のしがらみもなく、その価格が相場になってしまっているのが現状である。仕入が下の段階から確実に上がってきているので、国外へ出してサヤをとり価格に関しても対応せざるを得ない。雑誌の価格が上がってくると無選別が広く横行する恐れがある。もともと発生が少ないところに無選別の物を中国が買ってくれるので安易な方へ流れていってしまう。現在は、他業種が入ってきて全体の流れになっている。

(M Q) 輸出について

(G A) 輸出については、今年も400万トン以上必要であると思われる。来年も500万トン以上輸出が必要ではないかと思われるので輸出については心配ない。問題は、今の価格がいつまで続くのか、ここ2～3年の状況でどうなるかが問題である。

(G Q) 中国の家庭紙製品の輸入が急増しているが、今後、日本の需要に対して製品を供給できるのか。

(M A) 日本に輸入される製品は月に2000トンで日本を下回る価格で入ってきてい

る。中国では税金の還付の関係で製品価格を安くしても輸出ができる現状である。

(G Q) 製品の値上げについて

(M A) 大手は6月、中小は7～8月に向けて動いている。今年の3～4月頃から198円台をなくし200円台になってきている。今後、良い方向になるよう取り組んでいく。環境は非常に良くなってきている。

集荷業者より

産業古紙の発生が悪い。中小製本業者の廃業が多く、製本組合の業者でも3割ほどが減っている。大手は、10トン～100トン単位で荷動きがあるが、末端の集荷業者では、100キロ、200キロ、2トン車1台に半日かかってしまうのが現状である。価格が悪いと逆有償を今まで行ってきた。

メーカーは、製品の価格修正をするのに何故、操短をしないのか、操短をして製品価格を修正して欲しい。古紙が価格修正されたから製品が価格修正されるのではなく、製品が価格修正されから古紙価格を修正するようになってもらいたい。集荷業者も頑張っているのでメーカーも是非、製品の価格修正について頑張っていたきたい。

* 次回開催 平成19年10月24日(水)

p m 2 : 30 より

支部便り

〔中央支部〕 新支部長挨拶

菊池 武美

この度、中央支部長を拝命することになりました。

経験の浅い私が、引き継ぐことになり、重責を感じているところです。

発足当時、20名以上いた組合員も、昭和63年には18名、現在は13名に激減しています。

支部活動としては、毎月10日に支部会を開催。

組合本部事業への参画、本部連絡事項の徹底、価格問題の検討、支部員の福利厚生等、

現在でも、充分、通用する活動を行っていたと聞いています。そういう意味で、原点に帰り、支部の活性化の為に、微力ではございますが、頑張る所存です。皆様のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

〔山手支部〕 総会報告

山手支部 庶務 徳永 裕司

4月21日(土)江戸川橋「やなぎ鮎」に於いて支部総会を開催しました。協理事の議長選出ののち、決算報告、監査報告の承認。来年度予算了承。事業報告の承認ののち本部理事の任期満了に伴い、理事の改選を行い、宮崎勝保、長井義人、脇克美の三氏を選出。後日、支部長より支部役員が発表されました。

〔山手支部〕 新支部長挨拶

脇 克美

このたび、支部総会において新支部長に指名されました脇 克美でございます。当支部は2年前に50周年という節目を済ませ、また新たな歴史の一步を踏み出したところです。

奇しくも私の年令と同じというのは何かの縁でしょうか。当支部員の皆さんは二代目、三代目という方が多く、ほぼ全ての方が集荷業を営んでいることから、支部のまともには非常に良いと自負しております。しかしながら、

毎月19日に開催している支部会の出席率がいまひとつ伸びません。支部の役員になった時から感じておりましたが、支部会がマンネリ化してただの飲み会になってしまっている、と反省しています。今後は支部員にとって有効的確な情報を伝えられるよう努力し、一人一人にお声かけをして出席率が増えていくようにしたいと思います。

この夏には、「家族、従業員慰安会」を計画しています。ここ数年、毎年開催しています。皆さんにも好評のようで、いつも多数の参加をいただいております。今年も色々企画を考えて日頃、苦勞をかけている家族、社員の皆さんに暑気払いを兼ねて楽しんでいただきたいと思っています。

最近の印刷、出版業界の不振からくる取り扱い量の低下と少し値戻ししたとはいえ、集荷にとつてはまだ低い単価というファクターによりなかなか先に光明が見えない現在ですが、支部どうし連絡、情報を密にし共に乗り切っていきたいと思えます。本部の活動にも出来る限りの協力をしていく所存なので、正副理事長をはじめ各理事のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

組合員の広場

おまけの人生

〔足立支部〕新支部長 赤松源裕

今から二年前の平成十七年六月に、自宅近くの病院で発作はありました。急性心筋梗塞でした。

確かに兆候はありました。前日の朝、荷物を積んだトラックのロープが緩んだのでロープに足を掛け一杯引っぱりました。それを三回、四回続けた所、急に胸が苦しくなり、これは心臓が具合悪くなったと思い、しばらく休んでいました。

すると痛みはおさまり顔色も変わらなかったので、その日は一日仕事をしました。

次の朝、普段通り仕事をした所、胸に違和感があったので近所の病院へ行きレントゲン、心電図、エコーと検査をしました。しかし先生は異常なしとの事でした。（後でわかった事は、前日の痛みは狭心症で発作が起きないと検査ではわからないとの事です。）

先生は一週間後に精密検査をすると云うので予約をして会計を待っていました。

ところが急に前日の痛みより何倍かの痛みが始まり、正に心臓をワシ掴みにされた様な感じで、それは大変苦しく長く続き、それに加えて顔から脂汗があふれ、そして両手の指から段々と腕までシビれてきてしまい、これはまずいと思いつぐに先生を呼んでもらい手術（カテーテル治療）を受けました。

発作が起きて二時間半位でやっと楽になりましたが、一時はもうダメかと思ひ、家族に何か言い残さねばならないと考えていた所でした。とにかく生きていて良かったと思つています。

何でこの病気になったのか？

振り返って見ると原因は暴飲暴食と睡眠不足だと思います。

皆さんもどうか気を付けて下さい。病気になるってからでは遅いですからね。

入院してからは二週間程で退院する事ができました。

そこで思った事は発作がゴルフ場だったり、まわりに人が居ない所だったら、確実に亡くなっていたでしょう。（享年五十七才で）そしてその時に死んだと思えば、残りの人生はおまけの人生ではないでしょうか。

これからは仕事を減らして好きな事だけやろうと思いましたが、二年過ぎた頃、元の生活、元の気持ちに戻りつつありました。

一般に五十才過ぎたらとか、六十才過ぎたら後はおまけの人生だと云われますが、よく考えて見ると、人はこの世に生まれて来た時点でおまけの人生だと思えます。（この世に生まれてくる事ができなかった子達に比べたら。）

この様な事を思いながら再び気持ちを退院した時に戻し、好きな事をして行こう、と決めた今日この頃です。

今日、この頃「その四」

空白の日々

前事務局長 三沢 康夫

季節が紅葉から落葉へと移り変わるように私の精神の状態の多様な変化がうらめしい。

いとまない変幼に追いつけないわが心身の悲しさよ。めざましい変貌を遂げる自在な環境。物事に不器用でしか対応できない情けない自分。決して器用ではない私にとって毎日の味気ない日々を精一杯のチェンジアップ投法のような生活スタンスでもっていく以外に

ないと自分なりに納得しているが改めて再考してみようと思うが如何。

さて、ちよつと前の頃であるが、久し振りに会った知人からよく「変わらないねエ」と言われる事が多かった。が、そんな時に、何ともいえない嬉しい場合と、その後、なんと嫌なセリフであると思つた時があつた。私は、あの頃、その嫌な方が多かつたような気がする。「馬鹿じゃなからうか」少しも変わらなかつた自分が在つたのだらう、と思つると本当に情けなかつたのだ。今となって冷静に考えると、その当時の私は、とつても嫌味に満ち溢れた人間であつたかもしれない。それでも本人は、日常生活の中で少なくとも優しく心から安らげる日々の総仕上げにしたいと目論んでいたのであつた。が、しかし、その頃の、その結末が無残な形でしか送れずじまつたんじゃないかと思つ今日この頃である。

私の人生に対する態度の甘さであつたのかもしれないが、今となつては「人生とはかく云うものである」と言つて厳しさを再確認した次第であつた。今更、もとより花が咲く季節など、とてもじゃないが期待してたわけじゃないがまさに、落葉の舞い散る風景のような季節になると思つていなくなつたのも事実だ。世間で言つ所の「物事は終わり悪ければ全て

が良くない」そういう結果となるもんだが。それにしても、今、「瞬間的にも良かったなあ」と思つものがなにもない。ナツシングアットオール。何とも寂しい限りだ。しかし、それも無理も無いことであると思つ方がおかしいのかもしれない。妙な寂寥たる感じが漂う日々であるが、それは自分だけがセンチメンタルな感慨に簸たつているだけであつて周りの人が全く無用心なことでもあり、それも当たり前である。人間の付き合ひなんてほんになんぼのものであり、はかないものなんだらう。

さて、今、古稀を迎えているが、今日ある礎は多くの人達との出会いがあつてこそその私であつて決して、私あつての他人ではないんだと納得している私である。私が居るか居ないか、わからない程の存在感であるからじゃないか、又、引かれ者の小唄になつてもいいかと思つて、くだらないことを言っているが、ここには少しばかり、「まし」の気持ちもありますので、念の爲。

寂しい。そんな私でも、毎月の供養として、今は亡き息子、一貴を偲ぶ日々である。手元に延命地藏尊の、長寿の心得なる文がある。

「人生は山坂多い旅の道」「気は長く、心は丸く、腹は立てず口をつつしめれば命ながれる」とある。馬鹿言つちやいけない、何と虚ろだらう。そんなら8歳の若さで逝つてしまつた息子、一貴の場合は、何と言つたらいいのかわかなくて、教えて欲しいよ。奴は今後、何処で何をしているんだらうね、千の風になつていると思つと、又、寂しさが深まるばかりである。「古稀となつて、幾多の歳月が流れたが、やはり、空虚な事にも忘れ去ることの出来ないあの日、あの時があつたと思つので改めて、感謝の気持ちを持たなければならぬ」だらう。

こんな今日この頃であるが、精神的には空白の日々であるがラジオ深夜便に往時をしのび、小さな旅を楽しんでおり何と言つても、今は、孫の兼資くんが今春、見事に東大へ入つたので彼の無事達成を祈り、日々の楽しみを抛り所にしてやっていると思つがどうなるやら。

では、又、ご機嫌よう。

海外メーカー工場見学研修会のご案内

(東京都製紙原料協同組合直納部)

実施日：平成19年10月18日(木) 21日(日)

訪問先：フィリピン(マニラとスービック)

家庭紙メーカー2、3件視察

旅行会社：JTB

詳しくは後日案内を致します。

お知らせ

〔8月会議・催事確認〕 *理事会休止

8月6日(月) 直納・共販合同委員会

(pm4:00) 組合会議室

納涼会(pm6:00) 場所未定

8月13日(月) 15日(水)

組合事務局夏季休暇

8月23日(木) 東京返本加工協同組合総会

(pm3:00) 懇親会(pm5:30)

東京ドームホテル

〔9月会議・催事確認〕

9月3日(月) 常任理事会(pm2:30)

理事会(pm4:00) 組合会議室

9月18日(火) 古紙センター関東地区委員会

(pm2:00) 古紙センター会議室

9月27日(木) 古紙センター業務委員会

(pm1:30) 全原連役員会(pm2:30)

古紙センター会議室

〔代表者変更〕

〔山手支部〕 当原紙業株式会社

(新) 代表取締役 福土淳治

〔古紙価格〕

〔東資協の古紙4紙の標準売値〕

平成19年5月8日現在

* 新聞 9~10円(横這い)

* 雑誌 5~6円(横這い)

* 段ボール 7~8円(上昇)

* 色上(並) 5~6円(横這い)

〔古紙品質調査事業〕

平成19年4月~6月価格

〔新聞 古紙〕 14、000円/トン

〔段ボール古紙〕 10、750円/トン

訃報

〔千代田支部〕

名古屋紙業(株) (代表者 名古屋勝彦

様)のご母堂 名古屋 百合子 様(享年74)

平成19年6月11日(月)ご逝去

会議概要

5月度定例理事会(平成19年6月4日(日))

出席理事 29名 於) 組合会議室

pm4:00

近藤理事長挨拶

先月の総会にて前皆川理事長を引き継ぎ理事長となりました。前回でも取り組んでいました組合活性化を引き続き取り組んでいきたいと思えます。本日は、理事の初顔合わせとなります。まだ業務部副部長も決まっていない状況ですが、来月は、静岡での紙業協会家庭紙部会との懇談会、製本工組との古紙関係協議会も控えております。又、各支部へ出向いで、皆様の意見を聞いて廻りたいとも考えています。本年度は、実り有る収穫が出来ますよう頑張っていきたいと思えますのでよろしくお願いいたします。

〔各部報告〕

〔総務部〕

総会が皆様の協力で無事に済んだことに対してお礼を申し上げます。

〔直納部〕
6月21日(木)に第1回直納部委員会を開く。その際、各正副委員長、委員について発表したい。

全般の市況ですが、段ボールが国内メーカーで4月1日から購入価格が引き上げられましたが、5月の時点で一時的に内外格差が縮んだようである。5月は、中国向け輸出品が労働節の影響もあり、国内へシフトされ全般的に落ち着いたまま推移した。5月末から発生が減少し中国向けが反騰し円安が加わり、6月に入り2円ほど内外格差が広がってしまい需要はタイトである。

雑誌は、5月は国内の引きが強く、6月に入り輸出価格が上がってきており、強含みで需要は旺盛である。

産業古紙の需給は、それほどタイト感はないが強含みで推移している

国際市況については、ミックス古紙が上がっている。毎年5月の連休明けは安い価格で動くが、今年は中国のメーカーの増設があり、原料が不足し円安も加わり価格が上がってきている。これから国内のメーカーが、どうでてるのか。新聞は防衛買いをしようと思われているが、段ボールは、箱の価格が上がらないと難しいと思われる。

雑誌は、中国が非常に強いおかげで良いポジションをキープできるのではないかと。今年いっぱいには、中国の輸出がいいのではないかとと思われる。
共販委員会を7月に開催し7月～9月の価格を検討する。

〔集荷部〕 集荷部の部長は、宮崎勝保氏、副部長は石橋駒雄氏と、もう一名を検討中である。まだ、集荷委員候補が提出されていない支部があるが、揃ったら新しいメンバーで集荷部会を開きたい。

〔広報部〕 5月号の広報は、総会の内容を掲載するため1ヶ月ほどずれて6月中旬に発送予定である。役員改選等があり大幅に人事変更があったので5月号だけでなく7月号にも新しいメンバーの紹介を順次していきたい。

〔事業部〕 本年度の事業として、ISOコンサルティングオフィスの協力のもと「労働時間等設定改善推進助成金制度」を推進していく。7月3日の理事会の後、上野精養軒で納涼会を開催する予定である。

〔青年部〕 5月17日に青年部の総会が行われた。7月9日に幹事会を行い年間の計画を検討したい。

〔その他〕 各業務部部長・副部長について
総務部：部長 高山昭二郎、
副部長 上田晴健

直納部：部長 赤染清康、
副部長 小林健二、上田晴健

集荷部：部長 宮崎勝保、
副部長 石橋駒雄

広報部：部長 清水弘允、
副部長 脇 克美、高橋宏明

事業部：部長 坂田 智、
副部長 坂内大介、高橋宏明

青年部：部長 工藤裕樹、
副部長 脇 克美・辻 忠敏・廣田圭吾

全原連近代化推進事業委員会について

経営革新委員会：正委員 高山昭二郎
副委員 上田晴健

渉外広報委員会：正委員 清水弘允
副委員 坂田 智

IT推進委員会：正委員 工藤裕樹
副委員 赤染清康

副委員 赤染清康

需 給 委員会：正委員 赤染清康

副委員 小林健一

集直正副委員長・支部長会議

〔平成19年6月13日(水)〕出席委員 17名

於(組合会議室 pm4:00)

〔支部長会〕

各支部より報告

千代田支部：毎月5日支部会 支部員14名中
12名が参加

中央支部：6月13日(水)支部会予定

文京支部：毎月8日が支部会 土・日の場合は次の平日に開催 納涼会を8月に予定

台東支部：5月27日に支部の総会を開いた。

出席は18名中9名 7月に納涼会と定例会を予定。今後、交流支部会を開きたい。

荒川支部：今月の理事会終了後に支部会を開いた。8班制から6班制に変更した。

支部60周年行事を秋に実施予定。

足立支部：6月11日(月)に支部の総会を開催した。7名が参加。

山手支部：毎月19日に支部会。26名中10名ぐらいの出席。今後は勉強会を開きたい。

8月4日に椿山荘で家族慰安会を開催予定。

城南支部：支部会は毎回15名、18名の出席で総人数が少ないが出席率はいい。

年間行事として納涼会、忘年会、総会、新年会(1泊温泉)を行っている。

江墨支部：毎月20日に支部会。会場は寿司屋。年4回宴会を開き出席は17名中14、15名。通常は12名ほどの参加。

城北支部：毎月第2金曜日が支部会。50名中12、13名が参加。

〔集直正副委員長会議〕

直納部は、各委員が決まっていけないので赤染部長・小林副部長・上田副部長で今日の会議は進めていく。

集荷部は、今日は宮崎部長・脇委員・松井委員が出席。尚、各委員はこれから決めるが副

部長は石橋商店の石橋さんとノボル紙業の近藤さんに決まりました。集荷部会を来月に開催する予定。

需要については、6月に入り輸出相場が3品とも戻った。雑誌は最高値を更新している。仕入価格は上がってきているように思われる。国内においても3品ともにタイトである。

家庭紙の動向として製品の値上がりが浸透してきている。家庭紙古紙が洋紙メーカーでどのくらい使えるか。洋紙メーカーとしてテストをしながら使っていくのは間違いない。これに対し家庭紙メーカーは危機感を持っていて、一部では家庭紙古紙が秋口に動くのではないかと言われている。富士の家庭紙メーカーの在庫はバラツキがでている。お盆に家庭紙を廻すのではと言われている。家庭紙メーカーでは、これから秋に向い在庫を持ちたい傾向にあるようである。

静岡紙業協会家庭紙部会の懇談会では、現金化 在庫のバラツク 5、6月の発生は伸びていない点

製品の値上は、ある程度浸透化している
秋口からメーカーに危機意識を持ってもらう
以上の点を中心に話をする。

<p>古紙センター 業務委員会 (平成19年6月14日木) p m 3 : 00 於 銀座ファイナート</p> <p>〔1〕平成19年度第1回評議委員会、第41回通常理事会の報告について</p> <p>〔2〕委員長、副委員長の選出について 業務委員会委員長 堀川 (日本大昭和板紙)</p> <p>副委員長 大坪 (レンゴー)、山本 (王子板紙)、栗原 (栗原紙材)、深田 (國光)</p> <p>〔3〕平成19年7～12月段ボール、新聞・雑誌・新聞の消費計画について 最終ページに掲載 (参照ください)</p> <p>〔4〕古紙の需要・市況動向について 紙面の都合により、詳細数字は割愛させて</p>	<p>*各委員の意見</p> <p>○機密文書が増えてきている。</p> <p>○段ボールの発生が悪い。</p> <p>○雑誌が売れていないのを感じる。</p> <p>○新聞の販売が落ちてきているのではないか。</p> <p>○産業古紙は減ってきているようである。</p> <p>○駅のキオスクが減少し売上も減少しているので新聞・雑誌の売上に影響しているのではないか。</p>	<p>いただきます。</p> <p>全原連役員会 (平成19年6月14日(木)) p m 4 : 00 ～ 5 : 00 銀座ファイナート</p> <p>理事・監事56名・出席46名(内、委任出席18名) 欠席10名</p> <p>(1) 第30回通常総会 (5月25日開催 関東商組主催) 及び設立30周年記念式典 (5月25日開催) 収支報告</p> <p>* 参加人数 : 272名</p> <p>* 収支報告 : 収入 ¥ 4,190,000 支出 ¥ 11,592,646</p> <p>(第30回総会、近代化推進事業4委員会経費込み)</p> <p>(2) 古紙再生促進センター関係 業務委員会 5月24日・6月14日開催。 * 集団回収実施団体への感謝状交付について (九州地区委員会から5団体推薦)。 * 平成19年度3R推進表彰の推薦について。 * 関東地区における古紙品質調査事業の実施状況について。 ・ 4月実績 段ボール508t、新聞441t (段ボール525t、新聞495t)。</p>
<p>〔4〕近代化推進事業関係</p>	<p>* 平成19年7～12月段ボール・新聞・雑誌の消費計画について。</p> <p>・ 段ボール : 7～9月前年比102.7%、10～12月前年比99.5%、7～12月前年比101.1%</p> <p>・ 新聞 : 7～9月前年比105.0%、10～12月前年比104.6%、7～12月前年比104.8%</p> <p>・ 雑誌 : 7～9月前年比101.9%、10～12月前年比102.6%、7～12月前年比102.2%</p> <p>* センター賛助会員 (古紙納入業者) 調査の実施について。</p> <p>* 委員長、副委員長の選出について ・ 委員長 : 堀川漱二 ・ 副委員長 : 大坪清、山本信能、栗原正雄、深田和利、矢倉義弘</p> <p>平成19年度第1回評議委員会、第41回通常理事会 (6月14日開催)</p> <p>・ 第18期理事・評議員の変更報告</p> <p>(3) 段ボールリサイクル協議会 * 第10回理事会・運営委員会 5月17日開催) について。</p>	

経営革新委員会

- * 「古紙商品化適格事業所認定制度」及び「古紙リサイクルアドバイザー認定制度」進捗スケジュール(案)の説明。
- * 「エコアクション21合同取得アンケートのお願い」について
- ・ 取得経費の概算について各単組事務局へ提示する。

* 「2007年作業安全ポスター」配布について

- ・ 各傘下組合事務局へ発送手配済(各組合員へ配布のこと)

需給委員会

- * 海外視察調査について(視察候補地:インド、日程:11月実施予定)。
- * 平成19年度需給予測:4.041千トンと予想。

(回収予測:23.099千t、消費予測:19.058千t、需給予測:4.041千t)

IT推進委員会

- * 東芝情報機器より「製紙原料卸システム」と「自動台貫システム」の説明。
- * 次回開催:四国地区(9月6日予定)。

渉外広報委員会

- * 全原連30周年冊子作成協力に対する御礼。
- * リーフレットについて無料配布とすることで承認。各傘下単組事務局で必要部数を全原連事務局へ提示すること。
- * 各地区時自治体のごみ減量化施策調査実施の勉強会を大阪地区で8月3、4日開催予定。

(5)各地区状況報告

* 業務委員会の各地区の市況報告を統括すると

6月メーカー建値変化なし。 6月輸出価格高値、仕入強含みで推移。 段ボール古紙タイト感あり。

(6)その他

- 古紙余剰到来時の対策検討会設置について
- ・ 正副理事長会の中で方向性を検討する。
- 人事異動の件
- ・ 経済産業省製造産業局紙業生活文化用品課(6月4日付け)

転出:課長補佐 岡宮 潔 (原子力安

全・保安院原子力安全広報課)

新任:課長補佐 荒木 茂長 (製造産業局車輛課)

組合事務所・会議室改装工事(7月13日金) 7月19日(木)予定)。

設立30周年記念式典撮影ビデオ、各傘下組合事務局へ配布について

6月26日中国政府来訪で日本製紙連合会との交換会について

古紙再生促進センター3名、古紙関係者2名計5名の参加依頼がありました。

(古紙関係者2名として全原連・関東商組両理事長出席予定)

次回開催

役員会 平成19年7月25日(水)

14:30~16:00

正副理事長会 平成19年7月25日(水)

16:00~17:00

尚、経済産業省懇談会及び総合運営委員会は8月に延期予定。

古紙センター

関東地区委員会 (平成19年6月18日(月))

pm3:45 於)古紙センター会議室

(需要動向) 07/4月 単位トン、()

は対前年同月比、在庫の()は在庫率

〔関東商組32社実績〕			〔新 聞〕			〔雑 誌〕			〔段ボール〕		
仕入	出 荷	在 庫	仕入	出 荷	在 庫	仕入	出 荷	在 庫	仕入	出 荷	在 庫
9 3、	9 3、	7、	1 3 4、	1 3 4、	1 1、	6 6、	6 8、	8、	6 6、	6 8、	8、
2 2 2	8 2 5	8 6 5	4 1 7	2 0 8	1 9 3	0 9 4	2 5 3	0 7 3	0 9 4	2 5 3	0 7 3
(105.2%)	(105.2%)	(8.4%)	(100.0%)	(98.8%)	(8.3%)	(110.5%)	(101.1%)	(11.8%)	(110.5%)	(101.1%)	(11.8%)
〔新 聞〕			〔新 聞〕			〔雑 誌〕			〔段ボール〕		
入 荷	消 費	在 庫	入 荷	消 費	在 庫	入 荷	消 費	在 庫	入 荷	消 費	在 庫
2 8 0、	2 5 6、	2 1 5、	2 8 0、	2 5 6、	2 1 5、	0 3 2	3 3 0	5 5 7	0 3 2	3 3 0	5 5 7
(104.3%)	(110.1%)	(84.1%)	(104.3%)	(110.1%)	(84.1%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)

〔業者側コメント〕

〔新聞・雑誌〕 新聞の5月の回収量は、32社で105.2%。4月は、チラシは良かった。6月に入り不動産広告やスーパリーのチラシが減っていて回収が良くないのではないかと。雑誌は、新聞と逆で5月から発生が減少し11月まで続くのではないかと。発生は、例年、12月から4月が増え、5月から2月までが減少するのではないかと。

〔段ボール〕 相変わらず入荷してすぐに出荷してしまう。32社の1〜5月の入荷が60万1000トン、出荷が64万6900トンで、約5000トン出荷の方が多い。昨年も約1万トン出荷増であった。段ボールの数量ベアスが悪く少なくなってきた。これは段ボールの薄物化に関係があるのではないかと。

〔雑 誌〕

入 荷 1 3 0、 9 8 5 (98.8%)

消 費 1 2 5、 5 4 7 (97.0%)

在 庫 7 9、 4 3 7 (63.3%)

〔段ボール〕

入 荷 3 1 7、 2 5 2 (103.9%)

消 費 3 0 6、 0 0 9 (95.1%)

在 庫 1 0 3、 8 7 0 (33.9%)

〔メーカー側コメント〕

新聞は、春先が順調で在庫も伸びた。入荷量は4月から新記録である。消費は、3月が過去6年間で一番良く、現在も順調に伸びている。

段ボールは、5月は入荷が順調で消費が低く在庫は多く増やせた。関東・静岡地区のメーカー在庫は5月に1万トン強増えた。今年4月までの段ボール生産量は昨年とほぼ同じで対前年比が平均で99.7%である。

段原紙の生産量は、1月〜4月まで対前年比98.8%である。段ボールは、延び率が年々減ってきている。回収率も大きな壁に近づきつつあるのかなと感じている。

直納部委員会議（平成19年6月21日（木））

出席委員 14名 於）組合会議室

近藤理事長挨拶

新聞で、このところ原料高と円安で生活用品が値上がりしているという記事がでていた。その中にガソリン代とクリーニング代とトイレットペーパーと書いてあり、トイレットペーパーも上がっていることを実感しました。今度、静岡で紙業協会家庭紙部会との懇

p m 4 . 0 0

談会がありますので、それに向けて本日の会議を進めていきたいと思えます。

○全原連の推進しているエコアクション21についての合同取得参加者募集についての説明をする。

関東は、関東商組と一緒にスタートすることになる。

1. 直納部委員について

上白委員長 遠藤(名古屋紙業・株)

色上委員長 小林(株・富澤)

色上副委員長 () ()

切付委員長 () ()

切付副委員長 佐藤(株・庄司)

新聞・雑誌委員長 上田(三弘紙業・株)

返本雑誌委員長 工藤(株・工藤商店)

オフィス古紙委員長 高橋(株・丸十商店)

オフィス古紙副委員長 () ()

上台紙委員長 増田(株・増田)

() () は後日、人選する。

2. 静岡紙業協会家庭紙部会の懇談会では、

現金化 在庫のばらつきがある 5

6月の発生は伸びていない点

製品の値上げは、ある程度浸透化している

秋口からメーカーに危機意識を持ってもらう
以上の点を中心に話をする。

* オートドックスな市況の話をする、メーカーが危機感を感じているので、あまり刺激しないようにする。

3. 発生状況について

・発生は、5月に一時的に増えたが6月は低調である。

・5月連休後、数字が伸びていない。ランニングストックがない状況。

・家庭紙以外、切付が入らない。

・産業古紙中心のヤードが減っている。

・上物が少なく家庭紙メーカーが逼迫している。

・ミックスの注文量が減ってきた。

4. 直納共販合同委員会を8月6日(月)に開催する。終了後に納涼会を予定している。

7～9月の共販価格について検討

5. 秋の海外研修について

期間：10月18日(木)～21日(日)

場所：タイ・フィリピン・中国等で検討する。

編集後記

広報部副部長 脇 克美

今回の役員交代に伴い、足立支部(株)丸十商店の高橋さんが新たに広報副部長に就任してくださいました。先日この号の編集会議より参加いただき新風を吹き込んでくれました。だんだんと「高橋カラー」が広報に出てくると思います。どうぞご期待ください。

ところで皆さんは、群馬県老神温泉近くの「吹き割の滝」をご存知でしょうか?数年前にテレビで見て、上から滝壺に落ちるのではない、川の間流れ込むような滝を一度、その全貌を見たいと数年前から思っていました。妻も見たいことなのでチラシで日帰りバス旅行を見つけ早々と申込みましたが、人数が集まらないとキャンセルされてしまいました。それも二度続けてです。そうなると思ってみたいという思いは募ります。希望はバス旅行並みの料金で温泉と食事付きです。探してみましたが、なかなか希望通り見

つからず、季節も寒くなってきたので諦めることにしました。仕事には執着とか執念など持たない私ですが、「お楽しみ」には一生懸命になれる強い意志持っています。色々と思いをめぐらしてハタと思い当りました。毎年初夏に開催されている町会のバス旅行の利用です。私の町会は婦人部が実権を握っており、影響力も絶大です。マトを婦人部の長老に絞り、町で会えば挨拶の時にそれとなく耳打ちし吹き込みました。もちろん母を利用するのも作戦のひとつです。その地道な努力が実り、「吹き割の滝」ゲットです。しかもサクランボ狩りまでついています。町会の行事ですから酒もあり（行事に参加している方は私以外にほとんど飲まないことを経験上知っています）もう頭の中は歓喜の渦でいっぱいです。ついに六月二十四日（日）に積年の思いが叶うんです。いや叶うはずでした。ここまでお読みになってもうお気付きの方もいらつしやるでしょう。そう上手くいかないのが私のいつもの人生です。その十日ほど前、急に倉庫のブレーカーが落ちるようになりました。電気屋さんの頼んで調べてもらうと、やはり漏電でした。建物も古いし配線も昔からのモノがかなりあったで取り替えてもらうことにしました。商売柄先送りもできな

いので、そんな訳で二十四日は一人で留守番のハメに相成りました。朝、母と女房を見送りTVを見ながら、今頃、滝を見ている頃かなとか、うまい昼飯を食って温泉でも入っているんだろうなと想像しながら人佻しくインスタントラーメンをすすっていました。帰って来た二人の土産話も虚しさを倍増させ（明日からグレてやる）と心に決めました。しかし翌日になって気付きました。もうとつくに不良になった自分に。余計に落ち込んだ私です。